卒業資格単位確認表(2023年度入学生用)

文化学科

		授業科目名(単位数)・分野名等	履修年次と単位数								単位合計		単位修得済み
			1年次		2年次		3年次		4年次				
			前	後	前	後	前	後	前	後			
共通教育科目	大学基礎科目	スタートアップ PBL セミナー	2								13	44	YES☐
		キャリア教育入門	2										YES☐
		英語Ⅰ大学基礎	2										YES☐
		英語Ⅰコミュニケーション	2										YES☐
		データサイエンスⅠ	2										YES☐
		データサイエンスⅡ				2							YES☐
		スポーツ健康科学A	1										YES☐
	(副専攻科目)教養基礎科目※1	スポーツ健康科学B※2		1							13		YES☐
		歴史・文化分野	12										YES☐
		環境・科学分野											
		健康・医療・福祉分野											
		教育・公共分野											
		社会・経済分野											
		国際・外国語分野											
	専攻基礎科目	未習外国語※3	4		4						18		YES☐
		英語Ⅰ TOEIC[教養基礎科目から選択]	2										YES☐
		選択科目[教養基礎科目から任意の科目を選択]	8										YES☐
専門教育科目	必修	地域から考える文化と社会	2								54	84	YES☐
		文化学研究総論		2									YES☐
		専門PBLセミナーA(地域学セミナー)			2								YES☐
		専門PBLセミナーB(文化学セミナー)				2							YES☐
		文化学必修科目 基礎	8										YES☐
		文化学必修科目 発展			4								YES☐
		地域必修科目※4	16(セット履修)										YES☐
		演習			12								YES☐
		卒業研究						6					YES☐
	選択	自由選択科目	30								30		YES☐
卒業に必要な総単位数			128										

※については別紙に注意事項があるので各自注意願います。

文化学科

（2023年度入学生用）　別紙

・共通教育科目で修得すべき単位の中で注意を要するものは以下のとおりです。

※1　副専攻科目

　教養基礎科目として開講されている授業について、同一分野の授業を10単位以上修得し申請することで、当該分野が副専攻として認められる。ただし、副専攻としての履修および申請は任意である。
　副専攻について、詳細は共通教育履修案内「第2部Ⅰ．6. 副専攻の履修・申請について」を熟読すること。
専攻基礎科目として修得した教養基礎科目の単位は、副専攻の単位に含めることはできない。

※2　スポーツ健康科学

教養基礎科目にスポーツ健康科学B(1)を含めること。

※3　未習外国語

　未習外国語の履修について、詳細は共通教育履修案内「第2部Ⅰ 3(6)(ⅱ)未習外国語(英語以外の外国語)」を熟読すること。

・専門教育科目で修得すべき単位の中で注意を要するものは以下のとおりです。

※4　地域必修科目:16 単位を「セット履修」する必要があります。
　同一名称の科目を履修するときの注意:2 科目 4 単位(会話・作文の場合は 2 科目 2 単位)で1セットと考え、1 セット履修したときはじめて地域必修科目の単位として認められます。1 セットに満たない場合や、1 セットを超えて履修した場合には、下記の例のように、自由選択科目の単位として扱われます。
例:同じように 16 単位修得した場合でも

○:必要単位数を満たす

日本の思想 A	2 科目 4 単位
日本の思想 B	
日本の歴史 B	2 科目 4 単位
日本の歴史 F	
日本の文学 A	2 科目 4 単位
日本の文学 B	
日本の社会 A	2 科目 4 単位
日本の社会 D	
地域必修科目	16 単位修得

×:必要単位数を満たさない

日本の思想 A	2 単位	
日本の歴史 B	2 単位	2 科目 4 単位
日本の歴史 C	2 単位	
日本の歴史 D	2 単位	
日本の歴史 E	2 単位	
日本の文学 A	2 単位	2 科目 4 単位
日本の文学 B	2 単位	
日本の文学 N	2 単位	
地域必修科目	8 単位	
自由選択科目	8 単位	

※自由選択科目にカウントされる理由

・日本の思想 A は、1 科目 2 単位しか修得していないため(1 セットに満たないため)。

・日本の歴史 D、日本の歴史 E、日本の文学 N については、同科目の 2 科目 4 単位を修得済みのため(1 セットを超えて履修したため)。

なお、セット履修で正しく 16 単位を修得し、さらにそれを超過して履修した場合には、
その超過して履修した地域必修科目の単位は、自由選択科目の単位として扱われます。

共通教育・専門教育科目いずれの場合においても、成績通知書・証明書における下段の単位数は、
卒業条件等に即した単位数ではなく、修得した単位数すべてをカウントしているだけであり、上記の×のような例の場合でも「地域必修 16 単位」と表記されるので、注意が必要です。